

〇タブレット端末を活用した家庭科における支援

【なぜこの支援が有効になるのか】

家庭科で、掃除の工夫をする場合、掃除をすると事前の様子がわからなくなってしまう。そこで、事前の様子をタブレット端末で写真をとっておくと、事後の様子と比較することができる。特に同じ場所の様子を左右に並べた画面で、事前と事後の写真比べると、汚れの落ち方がよくわかる。また、掃除をしているようすを動画にとると、道具の種類や使い方が視覚的にわかり、言葉だけでは理解しづらい児童も、次に行う活動のイメージがしやすくなる。

〈支援・指導の実践例〉

1. 実践1：計画的にクリーン活動を行う。

タブレット端末1 掃除前 タブレット端末2 掃除後

2. 交流1：落ちにくい汚れは、どうしたらよいか
工夫の仕方を考える。

〈汚れの種類・使う道具・そうじの方法〉

大型モニターで、汚れの種類や場所によって、落ちにくい汚れを確認する。掃除の仕方を動画で見る。

3. 実践2：工夫しながらクリーン活動を行う。

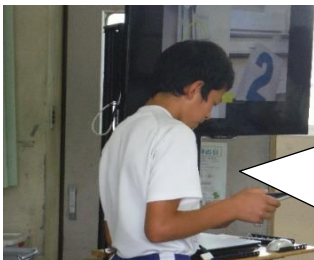
タブレット端末3 工夫して掃除した後

4. 交流2：工夫して掃除をするとどうなったか、様子を全体で交流する。

大型モニターに、掃除の前後を TwinView で写し、汚れの様子や、掃除の方法を発表する。実物は全体ではわかりづらいが、画面を拡大することで全体にわかりやすく、提示することができる。



汚れの様子を掃除の前後で、番号をつけて撮影



タブレット端末を児童が操作しながら説明

画面を全員が注目するため、集中して話が聞ける。



～指導のポイント～

- ・何と何を比較したいかがわかるよう、番号を入れて写真を撮っておく。
- ・タブレット端末のアプリを児童が使えるよう、事前に練習する時間を確保する。
- ・タブレット端末と大型モニターが接続できるよう、Wi-Fiの環境を整えておく。

～活用するとよいアプリの例～

- ・CMV Free ※写真や動画の2つの画像を TwinView で比較することができ、説明する時に拡大したり、線や丸で囲んだりすることができる。